

不動産賃貸業  
**有限会社 信和プロジェクト**

〒167-0031 東京都杉並区本天沼3-8-6

**TEL 03-3394-6889**



オペレッタ「メリー・ウィドウ」音楽公演

お部屋探しの強い味方! **mini mini**

お部屋探しの争ならミニミニにおまかせ下さい。

ミニミニは敷金0・礼金0の物件が豊富です!

ミニミニの特介手数料は、家賃の0.60% (税込) まで無料! です!

北海道から九州まで 全国約500店舗のミニミニネットワークで、全国どこでもお部屋探し!

株式会社 ミニミニ 城北 TEL (048) 223-2311  
 札幌市東区南一条 10-10-23 4F FAX (048) 227-0208  
 〒050-0010 東京都杉並区本天沼 3-8-6 TEL 03-3394-6889

CRAYS 従来の業界の枠を超えた新しい空間!

いままでにないワクワクを。

ONE STOP SOLUTION

LegitHouse 有限会社 Legit House (リジットハウス)

〒169-0072 新宿区大久保 2丁目7-1 大久保フジビル 7F  
**TEL 03-6804-2031** <https://legithouse.com/>

**コラム** オペレッタ「メリー・ウィドウ」とモンテネグロ 柴山三明

1905年12月30日、アン・デア・ウィーン劇場で新作のオペレッタが上演された。35歳の産付指揮者フランツ・レハールの作曲によるオペレッタ「メリー・ウィドウ」については、誰も期待してはいなかった。劇場監督のカルクツァは指揮のロベルト・シュトルツに、どうせ当たるはずはないから次の作品を見ておこうように指示していた。しかし、蓋を開けてみるとこの作品は空前絶後の大成功であった。

ウィーンでは、1907年11月まで、連続455回にわたり観演された。また、ロンドン始め欧米の主要都市でも上演され、1910年には10カ国語以上に翻訳され、世界中で延べ18000回以上上演された。

因みに、日本では1908年(明治41年)5月4日、横浜ゲーテ座でハンゾウ演劇団により初演されている。

この大ヒットにも関わらず、このオペレッタに猛反発した地域があった。東欧の国モンテネグロのモロルと自らが笑いのものとされた感情からであった。セルビア系の住民の多いリエスとコンスタンチンポールでは「メリー・ウィドウ」上演に反対するデモがあった。1907年2月のリエス・フィロドラマテコ劇場でのレハール指揮の上演では、ハンナの登場の場面から観客が口笛や怒号を浴びせて騒ぎ出し、15分間中断したほか、ロビーでは上演反対の赤いピツがまかれた。警察官が入りして約950名が逮捕された。

オーストリアの評議者の著書などでは誤解だとする向きもあるが、事実はかなり騒々的であった。

先主役の名前である。公使ツェーダの名は、1415世紀にモンテネグロの一方を統治した公国の名から採られている。この地方のセルビア人たちは、トルコの侵略と戦って長く独立を保持していた。ダニコは19世紀半ばに主教公からモンテネグロ公を兼ねて国を支配したダニコ一世の名に繋がる。ニエグス家は17世紀末に、ペトロピッチ・ニエグスが東方正教会の主教兼主事に就任して以来、モンテネグロを実質的に支配した有力貴族の家名である。従って、これらの名前は、モンテネグロの人々にとっては、いずれも名譽あるものであった。

主役のダニコとハンナの舞台衣装もモンテネグロの正装を模したものであった。加えて室内の場面は、モンテネグロの高位の貴族の邸屋を模したものとされている。

これでは、いくら国名だけ語呂合わせのようなボンテヴェドロと替えても、モンテネグロの話ととられても当然であった。

脚本はヴィクトール・レオンとレオ・シュタイン、オペレッタの脚本家としては、当時多くの作品を手がけた実力コンビだが、彼らは既に類似の手をヨハン・シュトラウスの1899年初演のオペレッタ「ウィーン気質」で使っている。そこで採りあげられたのはザクセンの小公国ライプス・ロス・グライズで、そこで幕始まったあとも田舎者の代表のよう描いた。この場合は、同じドイツ語圏でもあり、多少歴史を踏襲した話としてもあるのであるが冒険とはならなかったが、「メリー・ウィドウ」では、当時のオーストリア・ハンガリー帝国が統治上最も苦勞していたバルカンの民族問題に関わる主題を茶化したのは、いかにも新神話であった。当時のウィーンの感覚と、帝宮の辺境の人たちとのこうした落差が後のサラエボの悲劇に連なっていた一因とも思われる。

喜劇劇の、少々笑えない話でした。



■ 初演時のハンナ ミニッツ・ギンゼン (初演時の衣装による)

Musica Celeste

フランツ・レハール作曲 Franz Lehár ~オリジナル台本による日本語上演~  
 日本・ハンガリー外交関係開設150周年

第12回本公演  
**オペレッタ**  
**メリー・ウィドウ**  
 Die lustige Witwe

ムジカ・チェルステが人気オペレッタ「メリー・ウィドウ」に初挑戦!  
 フランツ・レハールが描く大人の恋物語と多彩な音楽、そして笑いをお届けします。  
 ムジカ・チェルステならではのエンターテインメント・クラシックと感動をどうぞお見逃しなく!

**2019年10月8日[火]** 豊洲シビックセンターホール

協賛 株式会社ミニミニ城北、有限会社信和プロジェクト、有限会社Legit House  
 後援 オーストリア大使館/オーストリア文化フォーラム、ハンガリー大使館、日奥文化協会、  
 日本ハリスブルグ協会、日本ハンガリー友好協会、日本コロン・シブツクス協会、オーストリア文化フォーラム

【お問い合わせ先】 株式会社ムジカ・チェルステ 東京都渋谷区松涛1-6-1671(ラスタビル) ムジカ・スタジオ松涛  
 TEL: 03-6804-9702 (受付時間: 平日10:00-18:00) FAX: 03-6804-9750 (24時間受付) E-mail: info@musica-celeste.com (24時間受付)  
 ■ HP <http://www.musica-celeste.com> ■ facebook <https://www.facebook.com/MusicaCeleste>